



し ら さ ぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 2
(通巻185号)
平成31年(2019)
4月10日(火)

《保護者会資料》

『今年度はこうなる 第八中学校』

校長 飯野 博史

正面玄関の八重桜の蕾が大きく膨らみました。

9日(火)、平成31年度入学式を挙行いたしました。希望と不安を胸に新生生91人が入学し、校内が清新の気であふれています。生徒、教職員一丸となってよりよい八中をつくっていきます。ご協力、よろしくお願いいたします。

今年度は通常の学級数が各学年とも3学級となりました。全校で9学級となり、ここ数年で最も多い学級数となりました。少人数授業で使用する教室が不足することになり、昨年度末に西図書室を改修し英語科学習教室としました。

また、特別支援学級E組も1学級から2学級となりました。昨年度に比べ、生徒数が約30人増えました。

今年度の主な取組、重点項目を紹介します。

【人権教育の充実等】

今年度も人権教育に力を入れていきます。人権教育は八中の特色の一つとなりました。

各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の目標を達成し、全ての生徒たちに「確かな学力」「生きる力」を身に付けていくことが人権教育の基本と捉えています。まずは「主体的・対話的で深い学び」を目指して、授業の工夫・改善に取り組んでいきます。

様々な人権学習に取り組んでいきますが、昨年度に引き続き「性教育」と関連させながら『性と人権』をテーマに学習を深めていきます。1学年で「いのちの授業」、2学年で「性と人権」の授業、3学年で「性の多様性」の授業を実施します。

自分の「性」を正しく理解することは自己肯定感につながります。異性を正しく理解することは互いを尊重し、よりよい人間関係や集団生活を築くことにつながります。

様々な性情報が氾濫する中、性についての偏見や差別について考え、正しく行動できる生徒を育てていきます。ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

また、新たな試みとして「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」を実施します。生徒一人一人が居心地の良い学級、いじめのない学級をアセスメントを通して実現していきます。

【イングリッシュサマースクール(2学年)】

7月末の3日間、2年生全員を対象に学校で「イングリッシュサマースクール」を開催します。原則、全員参加を考えています。

昨年度、江東区青海に「TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)」(東京都英語村)がオープンしました。体験的に英語の学習に取り組む施設です。2年生を中心に希望生徒が参加し、好評でした。今年度も目黒区教育委員会主催で「イングリッシュデイキャンプ」として夏季休業中に実施します。人数に定員枠があるので全員が体験することはできませんが、積極的な参加を促していきます。

【体育館エアコン設置、スクールサポートスタッフ配置】

昨年度、熱中症が大きな問題となりました。目黒区教育委員会では、全公立小・中学校の体育館にエアコンを設置することになりました。学年集会や部活動など、快適な環境で実施することができそうです。また、大地震などで体育館が避難所になるようなときにも活用できます。

今、教職員の働き方が問題となっています。全国的な調査によると、過労死ラインを越えて勤務する教員がたくさんいます。業務軽減を図るため「スクールサポートスタッフ」が配置されることになりました。事務処理の効率化を図ります。